

# 田川の宝を

# 未来へ

パプリカの栽培に挑む

安定した栽培、ブランド化に取り組むこと14年。現在、パプリカを生産する担い手は、高齢の農家ただ1人。市は、地域資源を守り育てるため、生産・販売・経営など幅広い知識を持った「未来農業者」の育成を始めました。田川の宝を未来へ引き継ごうと立ち上がった、挑戦者たちにスポットを当てます。

## 田川を愛する仲間たちとともに



田川創生有志の会  
代表 照瀬 保道さん

市内で土地家屋調査士として働きながら、自身が代表となり、有志とともに「田川創生有志の会」を組織。パプリカの栽培を通して、農業の後継者の育成を目指しています。



7月頃には、パプリカが赤や黄色に色づきます。この苗を大切に育てたい。4月5日、白鳥工業団地内にあるビニールハウスで、夏作の苗を植えながら、照瀬保道さんは笑顔で語りました。額に汗をにじませ、苗を植える照瀬さんの周りには、同じ思いで作業する「田川創生有志の会」の仲間の姿がありました。パプリカを含め、高齢化や担い手不足などの問題を抱える地域の農業に危機感を抱いていた照瀬さんは、有志5人とともに同会を結成し、昨年9月から始まった未来農業者の募集に応募。「土ではなく、ヤシ殻の培地に肥料や水分を送る養液栽培であれば、放棄された農地を活用して新たに始めることができる」と期待をにじませました。

農業経営は、照瀬さんを始め



田川の宝「パプリカ」の未来を担うもうひとりの挑戦者は、新規就農を志して愛知県名古屋から本市に移住した菅原一彦さんです。

菅原さんは、IT企業に勤めるシステムエンジニアでしたが、自身と家族のワーク・ライフ・バランスを真剣に考え、一念発起。平成28年に退職し、妻・朋美さんの故郷である北九州市周辺での就農を模索する中で、本市のパプリカに出会いました。「パプリカはひとつで主役になれる野菜。目に見えるスペシナルなものを作りたい。生産者が少ない品種なら、第一人者になるチャンスもある」。菅原さんは、葉の茂り具合や開花状

## 移住の地で第一人者を目指す



すがわら農園  
菅原 一彦さん  
菅原 朋美さん

菅原一彦さんは神奈川県川崎市出身。19年務めたIT企業を退職後、福岡県農業大学校（筑紫野市）に入学し就農に向けて修行を積みました。夫とともに愛知県名古屋から田川市へ移住した朋美さんは「田川は、水も空気もおいしい。近所の人は温かい人ばかりで、素敵なお店です」とにっこり。

況を丁寧に確認しながら、自身の挑戦に懸ける思いを語りました。白い花が緑の若いパプリカに変わる6月、菅原さんは照瀬さんやアドバイザーとともに「アグリフードビジネス展2018 福岡市」に出展。販売実習を兼ねた販促活動を通してスキルアップを図りました。菅原さんは、ミラーレス一眼カメラを駆使してパプリカの果汁がはじける動画を撮影し、ブースで放映。スーパースローで描かれるみずみずしい一瞬に、たくさんのお客様が見入っていました。こうした実地研修や、アドバイザーからの指導などで得た知識をいかに、栽培やラベル作成、商談などに奔走する日々。初生りの宝石のようなパプリカを手にした喜びも束の間、大きな試練が立ちました。平成30年7月豪雨により、冠水した路上で軽トラックを失いました。また、自宅を離れ、近隣の避難所に身を寄せました。しかし、ビニールハウスは猛烈な雨からパプリカを守り、無事に収穫・出荷の時期を迎えることができました。現在、田川地区だけではなく北九州市などにも販路を開き、販路拡大に努めています。「生育状況や液肥を送るシステムの確認など、日々の作業は思った以上に大変。9月からの冬作の栽培に向け、もっと効率化して収量を増やしたい」。夫婦2人3脚の挑戦はまだ始まったばかりです。



のみなさんにとって初の試み。昨年12月～本年3月の期間に栽培方法や農業経営の研修を受け、栽培や販売の現場で課題を実感し、解決策を探る日々を送っています。栄養を実に集中させるための摘花、日当たりをよくするための摘葉など毎日の管理が実を結び、夏には色鮮やかなパプリカがハウスを彩りました。地域の人脉を活用して、地元の直売所やスーパーマーケットに販路を開いたほか、個人や地域のイベントなどからの呼びかけにも丁寧に応じ、自慢のパプリカを出荷しています。しかし、必ず発生するのが、大きざや形の問題で出荷できない「規格外」の品。この活用に取り組む会員のひとり「地元の料理人と協力してシャベットの開発に取り組んでいます。規格外でも味は同じ。ぬか漬けやピクルスなどパプリカをいかす手法はたくさんある。試作品を食べてもらいながら改良したい」と抱負を語りました。



- ズラリと並んだパプリカを、ひとつひとつ磨いてチェックする田川創生有志の会のみなさん
- 愛情を込めて、手作業で丁寧に収穫
- シャベットの試作品。来夏の販売に向け、法的なハードルをクリアするための研究を続けています
- 培地に植えた苗に直接液肥を送る「養液栽培」
- アグリフードビジネス展 2018の様子。照瀬さんと菅原さんが協力し、趣向を凝らしたブースでPR
- 菅原朋美さんオススメのパプリカを使ったパスタ。バーニャカウダソースとパプリカが口の中で絶妙な絶妙なハーモニーを奏でます

